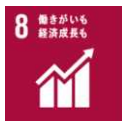


普及現地情報



発信年月日: 令和7年(2025年)6月9日

所 属 名: 高島農産普及課

番 号: H25006

発 信 者 名: 山下、三溝

令和7年度 高島ぶどう研究会 第1回集合研修会の開催を支援

昨冬に管内で初めて設立されたブドウ生産者組織である「高島ぶどう研究会」の今年度初めての集合研修会が開催されました。当課は事務局の高島地域農業センターとともに運営にあたるほか、講師として研修会の開催を支援しました。当日は非常に高い出席率で会員のブドウ栽培への関心の高さがうかがえました。

「高島ぶどう研究会」は当課が昨夏より生産者や関係機関に対して組織の設立を働きかけ、令和7年1月に生産者間の交流や栽培技術向上のための相互研鑽機会の創出を目的に設立されました。

今年度は「品質・収量向上に向けた房づくり」をテーマに計4回の集合研修会の開催を計画されています。また、栽培管理のポイントとなるタイミングで情報紙を発出することとしています。

5月23日にマキノピックランドで開催されました第1回集合研修会では、生産者16名・関係機関5名と会員の8割を超える出席がありました。今回の研修会では「房づくり① 花穂整形」として、当課担当を講師に説明と実演を織り交ぜながら花穂整形への理解を深めていただいたのち、「竜宝」を供試樹として参加者それぞれに実習いただくことで技術の習熟を図りました。

会員は新規生産者からベテラン生産者まで様々であり、今春植栽された生産者は先輩生産者に積極的に質問され、先輩生産者は経験に基づくアドバイスをされるなど、積極的な交流と相互研鑽の場となっていました。

今後も当研究会を活用し管内ブドウ生産者の栽培技術向上および産地化が図れるよう支援してまいります。



情報紙の発出



当課担当より説明と実演
(5/23)



参加者による実習
(5/23)